

# 熊本地震から丸6年。2回の震度7で傷ついた町は、まだ復興途中です。

## ●余震として1000回以上の有感地震が発生していました

熊本地震は、短期間に震度7の大きな揺れが2回連続するという、内陸型(活断層型)の地震としては珍しいものでした。最初は、2016年4月14日の21時26分。2回目は、28時間後の4月16日、1時25分。そのため、1回目の揺れで被害を受けなかった建物でも、目に見えないダメージを受けていたため、2回目の大揺れで倒壊したものもありました。熊本県のシンボルの熊本城も大きな被害を受け、国指定重要文化財になっている高さ18mの阿蘇神社の楼門も倒壊してしまいました。熊本城、阿蘇神社をはじめとする重要な建造物は、6年を過ぎたいまもまだ復旧工事が続いています。



▲倒壊した阿蘇神社の楼門



▲地震前の阿蘇神社楼門

## ■地震の発生状況(4月14日~29日、震度5弱以上を観測した地震)

発生日	発生時刻	震央地名	マグニチュード	最大震度
4月14日	21時26分	熊本県熊本地方	(前震) 6.5	7
	22時07分	熊本県熊本地方	5.8	6弱
4月15日	0時03分	熊本県熊本地方	6.4	6強
4月16日	1時25分	熊本県熊本地方	(本震) 7.3	7
	1時45分	熊本県熊本地方	5.9	6弱
	3時03分	熊本県阿蘇地方	5.9	5強
	3時55分	熊本県阿蘇地方	5.8	6強
	7時11分	大分県中部	5.4	5弱
9時48分	熊本県熊本地方	5.4	6弱	
4月18日	20時41分	熊本県阿蘇地方	5.8	5強
4月19日	17時52分	熊本県熊本地方	5.5	5強
	20時47分	熊本県熊本地方	5.0	5弱
4月29日	15時09分	大分県中部	4.5	5強

左表で示したように、4月14日から4月29日までの15日間で、震度5弱以上の大きな揺れが13回も発生しています。この間、身体に揺れを感じる地震は1000回以上も起きていました。

この地震による九州5県(福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎)の死者は211名、重傷者1142名、軽傷者1604名という大きな被害でした。また、建物の全壊は8682棟、半壊3万3600棟、一部損壊15万2749棟となり、熊本県、大分県の被害総額は最大約4.6兆円と推計されています。



出典:気象庁「平成28年(2016年)熊本地震について<第42報>」(平成28年8月31日)

## ●余震が続く中、エアード断震システムの試験棟を建ててデータ収集

地震発生後、弊社社員はカメラをもって現地に赴き、町を襲った大きな被害を目の当たりにしました。特に1階部分が押しつぶされて倒壊した建物がとても多いことに愕然としました。

余震が続く中、熊本市内にエアード断震システムの試験棟を急遽建設。余震のデータ収集、建物の浮上実験繰り返すことで、システムの性能向上のための貴重なデータを蓄積できました。試験棟の設置は、2016年7月~2017年3月でしたが、この間熊本県内で起きた地震数は、最大震度の震度5強が3回、震度1以上の地震は合計717回も発生していました。



▲地震で1階が潰れた住宅



▲急遽建設した熊本市内のエアード断震システムの試験棟

日本全国の今年の地震発生数を見ると、元旦から4月18日までに、震度6強の地震が1回、震度5強が3回、震度5弱が1回起き、震度1以上の地震は703回も発生しています。地震が発生する度に、建物を空気の力で浮上させ、地震の揺れから建物と命を守るエアード断震システムの普及活動に力を入れていかなければと感じています。